

沖女連会報

でいご

発行 (一社) 沖縄県女性連合会
 発行者 與那覇 信子
 所在地 那覇市大道172
 電話 098-884-5333
 F A X 098-884-5343
 メール okifuren@ac.wakwak.com
 編集 広報部

退任にあたって



会長: 與那覇

新しい年度を迎え、心浮き立つ今日この頃、皆様におかれましては、お変わりなくご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、この度任期満了に伴い、令和7年度をもって沖縄県女性連合会会長を退任することになりました。

振り返りますと、令和2年度の会長就任と同時に、新型コロナウイルス感染症が流行し、経験したことのない状況に直面しましたが、

「おきふれんSDGs」尾身先生による感染症防止講演会「女性の健康づくり支援事業ナプちゃんの日」の普及推進寄せ植え講習会と新たな事業を取り組みました。

また、「全国女性団体研究大会・九州地区地域婦人大会」の沖縄県で開催した事や、「米兵による少女暴行事件に対する防止要請」等々、多くの事業を展開出来ました。

それら皆様のご協力、ご支援があり成しえた事だと心より感謝申し上げます。

活動が評価され、京都府より生涯学習大賞受賞と消費者庁長官よりベスト消費者サポーター章を受け嬉しい限りです。

色々と大変でしたが、楽しませて頂きました。

「ありがとう！感謝！思い出さばいい！」

地方創生は女性力を必要としています。力を発揮して下さる事を願い、新体制の活躍期待して退任の挨拶とします。

会長 與那覇 信子



事務局: 當山



結核担当: 諸見里

沖縄県女性連合会理事 韓国釜山視察研修及び交流会 伝統文化体験

令和8年2月21日、沖縄県女性連合会理事10名は韓国居昌邑を訪問し、金川里第一敬老堂にて、居昌郡セマウル会婦人連合会と共に日韓両国の女性指導者が地域社会の発展モデルを共有し、民間レベルでの実質的な協力体制を構築するために文化意見交流会を開催した。

和やかな雰囲気の中、韓国伝統料理作りを五感で体験し、参加者の方々とも言葉の壁を乗り越えた温かい心を分かち合った。

イ・ソング居昌郡セマウル会長は、「海を越えて居昌を訪れてくださった沖縄県女性会の皆様に深く感謝申し上げます。」と述べ、「本日の出会いが両地域の女性指導者たちが知恵を分かち合い、ともに成長する貴重な出発点となることを期待しております」と、話されました。

平和を願い今後の姉妹友好交流に繋げるよう約束し有意義な交流が出来ました。



金川里第一敬老堂にて(2/21)

與那覇会長のもと6年間事務局として、いろいろな学ばせて頂きました。各地域で活躍しているリーダーの方々との出会いは沢山の刺激を頂きました。ありがとうございました。

県女連で学んだ事を持ち帰り地元女性会の活動に生かしていきたいと思えます。

お世話になりました。

事務局 當山千賀子

6年間結核予防担当として、複十字シール募金活動へ沢山の協力、ご支援を頂きありがとうございました。私事で申し訳ないと思いますが、これからも大切な仲間としてこの縁はずっと続いて欲しいと思っています。公私ともにお世話になりました。ありがとうございます。

結核予防担当 諸見里清江

令和7年度 緑の普及啓発事業 「寄せ植え講習会」

花や緑は、環境の改善に資する身近な自然であり、美しい街づくりを進める貴重な役割をはたしている。身近な草花や樹木ハーブを組み合わせた寄せ植え講習会を開催し緑豊かな潤いのある生活空間の実現に向けて共に花や緑のある街づくりの推進活動を実施した。※「緑の募金」活用し開催

(令和7年度実施団体: 伊江村女性会・本部町女性連合会・宜野湾市上大謝名女性会・恩納村女性会)



恩納村女性会 25名 (富着公民館) 日時: 令和7年9月27日 (土)



伊江村女性会 20名 (伊江村公民館) 日時: 令和7年9月23日 (水)



本部町女性連合会 30名 (熱帯ドリームセンター) 日時: 令和7年7月2日 (水)



宜野湾市女性連合会 23名 (上大謝名公民館) 日時: 令和7年10月4日 (土)

令和7年度 沖縄県交通安全県内一斉キャンペーン

沖縄県交通安全母の会は、「交通安全は我が家から」を活動の指針として交通事故防止と交通安全教育の普及に努めており、その一環として10月30日を県内一斉キャンペーンと位置づけ県内6地区で開催しています。



北部地区交母の会



中部地区交母の会



那覇地区交母の会



南部地区交母の会



宮古地区交母の会



八重山地区交母の会

令和7年度 交通ボランティア等ブロック講習会 (九州ブロック)

日時: 令和7年10月6日 (月) 10:30~16:00
 場所: 佐賀グランデはがくれ

九州地区8県から30名が集まり、各県の交通安全活動を発表。沖縄県からは、勅使川原雅江(恩納村女性会)山城幸恵(本部町女性連合会)山城そえ子(糸満市女性会)の3名が参加し、沖縄県代表として勅使川原が発表しました。新一年生へのお守り配布や、交通ルール講習会、交通安全県内一斉キャンペーン等の活動を報告しました。他の県も居眠り運転が多い昼食後にキャンペーンを行ったりと各県の実情に合った活動を実施しているとの報告があり、沖縄県へ「どんなお守りを配っていますか?」との質問がありました。次年度参加する方は各市町村で配布しているお守りを紹介しても良いかと思えます。

(勅使川原雅江報告)



全国女性団体研究大会inおきなわ 九州地区地域婦人大会

沖縄コンベンションセンター劇場棟・展示棟

令和7年11月25日(火)・26日(水)

全国から1,000人余の会員が参集し、沖縄の歴史、文化に触れ オキナワワールドで大盛況!!!
次世代リーダー受講者も力を発揮してもらいました。



沖縄県女性連合会 会長 與那覇 信子



終戦後80年の節目の年に本大会を、東シナ海に浮かぶ小さな島「おきなわ」で開催できますことに大変ありがたく心より感謝申し上げます。

沖縄県で全国大会及び九州地域ブロック大会の同時開催は、はじめてのことでございます。全国各地からのご参集下さいました皆様、ようこそお越し下さいました。心より歓迎致します。

さて、本大会のテーマとして「守礼の邦から平和を未来へ繋ぐ」を掲げ、平和、福祉、環境の3分科会を示しました。昨今のウクライナや中東そして近隣国では中国、台湾などの国際情勢は混迷を極めています。沖縄県では80年前県民を巻き込んだ地上激戦で多くの犠牲者が出たこと、その大戦後の戦跡や本土復帰55年経過後も米軍基地が多く点在している事に鑑み、その課題を取り上げスポットをあてております。この大会を通して、更なる研鑽を積み時代に応じた活動が展開出来る事をご期待致します。

特別講演 「首里城復興について」

琉球大学名誉教授 文学博士・琉球史 高良 倉吉氏



日本文化にルーツを持つ人々が時間をかけて独自の文化を築き上げていった。琉球王国の拠点として司令棟が「首里城」であり、南の島々を統一する王がおり450年続いたとされている。首里城を語る時「琉球王国の拠点」「アジア等との活発な貿易交流」「文化を創造していく場所」であり、正殿前の広場で外交を行った。

明治維新で日本政府は、琉球王国を廃止し、沖縄県として組み入れました。昭和になり日本は戦争を始めました。首里城は、日本兵が軍事場所として使用していたため、米軍の攻撃を受け壊滅に至りました。

時は過ぎ、本土復帰し、首里城復元の話が持ち上がり、私はそのプロジェクトチームの一員として参加。戦争で関係資料等が全部焼け、絶望的でした。幸い本土での調査で大正時代の設計図記録や写真、記録資料が見つかり復元が可能になりました。

本土復帰20周年の節目の年に正殿がよみがえり、その他すべての建物が2019年2月に完成に至りホッとしていた矢先、同年10月31日一瞬にして全焼してしまいました。30年かけて復元しただけに絶望はどん底でした。

今度の首里城復元に際し、県外からの宮大工、お宝(文物)の復元プロなど沢山の人が関係しているためオールジャパンと称し作業を進めている所です。全体の完成までは10年後としています。

首里城復元に際し多くの皆様にご多大なご支援ご寄付を頂きました。復元出来る事に感謝しております。

記念講演

「文化のチカラで花咲く感動体験の輪」
演出家・脚本家 平田 大一氏



南島詩人を名乗っています。平田大一です。僕のたったひとつの目的は地域おこし、そして人づくり活動を行い地域を元気にしていくこと。これからも続けていくために文化や芸能芸術を活用し、取り組み、活動をしていきたい。

一つ目の紹介事例は、小浜島の平均年齢84才、最高年齢97才のお祖母ちゃん合唱団「KBG84」。天国に「一番近いアイドル」というドッキリとするキャッチコピーでCDデビューを果たし、そのプロモーションビデオは世界のネットユーザーに瞬く間に広がった。様々な艱難辛苦を乗り越えて今があるおばあちゃん達の底抜けの明るさは、世代や地域も包み込む母性愛の塊である。国や文化の違いも変えた、ちゅらさんおばあ笑の笑顔が地域観光の文化資源としてあるいは世界を変えるミラクルコンセンサスとして新たな可能性を感じています。

二つ目は、子ども達が主役の事例。地域にある物語を「現代版組踊 肝高の阿麻和利」を舞台で披露し、演じ達成したことに感謝を伝えることにより成長する子ども達がいいます。舞台がもたらすもの、人づくりの種をまく、感動体験の種である。種をまくといつか必ず芽が出て花が咲きます。種をまかなければ、可能性はゼロです。私たち大人は、子どもが気が付くかは別として種をまき続けるだけ。その芽吹いた花は人生の中心に必ずや必要になります。皆さまは各地域におけるあらゆるリーダーでありつつ、家庭では一人の親であり保護者であるでしょう。子ども達は自分が発揮できない、生きづらいことがあると思います。常に人づくりの種をまき続けましょう。



～琉球料理をユネスコ遺産登録へ～

琉球料理ユネスコ無形文化遺産登録
推進委員会委員長 新垣 慶子氏



沖縄の伝統的食文化は、地理的位置、気候風土、風俗習慣、歴史的背景など多くの要因を内包しながら形成されてきた。

琉球料理には大きく3つの特徴がある。

1. 首里王府を中心としたおもてなしの料理 (宮廷料理・饗応料理)時代と共に士族、富裕層、庶民に伝わった。
2. 沖縄の各地域に伝わる多種多様な行事(十六日祭・清明祭・盆・葬礼)料理。仏事で豚肉を使った料理は特筆すべき特徴である。
3. 庶民の日常の家庭料理
滋養のある料理を「クスイムン(薬になるもの)」「ヌチグスイ(命の薬)」

オープニングセレモニー

式典

ロビー・受付

めんそーれ



南風原高等学校 郷土芸能部



大会宣言

私たち全国女性団体連絡協議会会員は、ここ沖縄に集い「平和を未来へ繋ぐ」をテーマに「平和」「環境保全」「健康福祉」に関する研鑽を積むと同時に生活弱者への扶助といった社会福祉の理念を念頭に、誰一人取り残さない社会を目指し共に学び、研究することで地域の絆が太く強くなることを目標に、第73回全国女性団体研究大会を開催いたしました。

近年私たちを取り巻く社会問題は多様化し、基地問題や急激な少子・高齢化に伴う人口減少やグローバル化や情報技術の進展、さらに地球環境悪化による異常気象や自然災害の多発など地域社会が抱える課題や、また特殊詐欺被害など多岐にわたる社会問題に直面しています。

このような状況下で、私たちは、今こそ女性会が長年培ってきた知恵と経験や体験を活かし、社会教育団体としての責務を果たすべく、更なる”地域力”を発揮し新たな行動で社会を変えていくことの重要性を再認識しました。

私たちは、共に学び、共に喜び、共に助け合える女性会として本研究大会で協議した成果を全会員へ発信し、次世代のリーダー育成も強力に推し進め、持続可能な地域活動の推進と平和で豊かな暮らしを送ることができる地域社会づくりに努めることを宣言します

決議

1. 次世代女性の社会教育への取り組み
2. 防災・減災活動への取り組み
3. 地域社会の活性化への取り組み
4. 環境問題への取り組み
5. 食の安全・安心と農林水産業への取り組み
6. 消費生活問題への取り組み
7. 福祉・健康問題への取り組み
8. 北方領土返還要求運動
9. 平和運動の継続
10. SDGs (持続可能な開発目標) 活動の推進

2025年11月26日

守礼の邦から平和を未来へ繋ぐ 結ま〜るの心で支えあう地域の絆

第73回 第77回



櫻井ようこ会長

第1分科会 《平和》

移住の地で、学び、伝える沖縄戦の事 平和ガイド 井出 佳代子氏
神奈川県川崎市から糸満市へ移住し、平和ガイドに。「生きて捕虜になるな」の言葉は沖縄県民に集団自決を選ばせ、多くの命が失われた。鉄の暴風による不発弾処理は100年を要し、戦争の傷跡は消えない。元白梅学徒隊の中山キクさんが語り部として残した言葉「平和な時しか戦争は止められない。命を懸けて平和外交を。命どう宝」

お笑いをとおして米軍基地を見つめる

沖縄芸人 小波津 正光(まーちゃん)氏
基地問題に対する沖縄と本土とのギャップに驚き、笑いを交えて沖縄の基地問題を世間に考えてもらう。沖縄において「日米地位協定」は「日本国憲法」より上であり、今でも基地内では新しい建物が日本の税金で建てられている。世界一危険な「普天間基地」は本当に返還されるだろうか、辺野古と両方とも使い続けられるのではないかと疑問である。
基地のお陰で経済は潤っているのではないかと言うならどうぞ基地をご自分の土地に持って行って下さい。なぜ持っていかないのですか？井出さんから、基地があるから危険になる。一番に狙われるのは基地です。



第3分科会 《環境(エネルギー)》

生活の中で向き合うエネルギー 琉球大学名誉教授 工学博士 堤 純一郎氏
地球温暖化は気候変動の原因。気候変動は身近なもので、沖縄ではグルクンが取れなくなり宮崎県あたりまで移動している。カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいる再生可能エネルギーは、次のとおり。
・サトウキビの残りがす⇒もやしてエネルギーにしている
・最も安いエネルギー⇒太陽光(期待される技術)
生活の中で向き合うエネルギー
・家庭の省エネ⇒エネルギーの消費を抑える。エコマークのある商品を使用
・交通の省エネ⇒これから買うならハイブリッド車がベスト
風力発電や太陽光発電設備を設置する前に、「環境影響評価法」を活用し、自然環境を守りながら設置可能かを検討し、対策をすることが最も大切である。



第2分科会 《健康と福祉》

笑顔で介護を続けるために

お笑いタレント 喜舎場泉氏
山田力也氏



泉さんのメッセージ〈9年間介護を経験〉
『一人ではできない』⇒地域・家族の協力が不可欠

認知症を隠さず、甥っ子姪っ子(ヤングケアラー)に助けられた。母を施設に入れる決断のきっかけ：姪っ子の言葉「母親が泉のテレビみて笑っているよ。泉が活躍することが母ちゃんの幸せだよ。」姪っ子は後に作業療法士となり病院に勤務
介護者へ：自分を許してあげる、昔の母ではなく認知症の母を受け入れる、焦らず笑顔忘れずに!

おきなわ介護福祉研究所
代表理事 羽鳥 訓秀氏



・介護には『思いやりの演技』が必要。
嘘ではなく本人や家族が穏やかに暮らす工夫である。
・笑顔は最大のケア。介護は暗いものではなく、笑いを取り入れることで前向きになれる。



沖縄の女性会による”お・も・て・な・し”の演舞で会場は多いに盛り上がり



「四つ竹」伊江村女性会

懇親会

「くいちゃー」宮古地区女性連合会

「六調節」石垣市女性連合会

「沖女連会歌」沖女連役員

「かぎやで風」 沖女連会長ほか役員5名
地謡 浦添市文化協会

鹿児島県地域女性団体連絡協議会

「エイサー」沖縄国際大学 琉球風車

第43回 全琉女性芸能大会

令和8年2月28日 午後2時30分開演
国立劇場おきなわ大ホール

主催：一般社団法人 沖縄県女性連合会 後援：沖縄県・沖縄県教育委員会、沖縄テレビ放送(株)、(株)琉球新報社、(株)沖縄タイムス社

全琉芸能大会は地域に伝わる伝統芸能の継承と会員の親睦、そして女性会活動の活性化として取り組んでいる。サブタイトルの～文化交流、文化の発信力の強化～の趣旨のもと、沖縄県市町村女性(婦人)会6地区による演舞、民舞の他、空手・獅子舞・エイサー・ハワイアンフラ等を交え拡大開催し文化交流、文化の発信力の強化と芸術文化の更なる振興を目指す大会となった。

プログラム

幕開け かじゃで楓 沖縄市女性連合会 美里女性会
 貫花 北中城村女性会 (地謡・歌・三線)
 あしびな～ 宮古地区婦人連合会
 ふながや音頭 大宜味村婦人連合会
 首里城 那覇市女性連合会 具志婦人会
 交通安全講和 飲酒運転根絶アドバイザー
 特殊詐欺防止対策講話 浦添警察署生活安全課安街づくり課
 祝い座ぬ踊・語りば兄弟 おきなわ結舞踊推進協議会
 ～つ・な・ぐ～ぶどうりあしびな

石垣市女性連合会 白保女性会
 パラダイスうるま島 八重瀬町女性連合会
 ハワイアンフラ カ・フラ・レイモミ・オ・ホークオラ キ
 シャバ
 空手演舞 剛柔流空手道連盟東恩納道場
 レキオス風に舞え獅子の如く・月の夜の下
 創作劇団レキオス・レキオスJr美童
 沖縄県女性連合会会歌 出演者全員
 フィナーレ出演団体全員 お礼



フィナーレ

交通安全、特殊詐欺防止講話

次世代リーダー研修IN筑波大学 最新研究から学ぶ未来創造

日程：第1回令和7年9月27日(土)28日(日) 第2回令和7年10月18日(土)19日(日)
場所：茨城県 筑波大学 春日講堂

- 第1回「変わる勇氣、変えるアクション」「大学はテーマパーク」
「保護者から見た学校トラブルの現状」「科学的若返りの秘訣」
- 第2回「お金のはなし株ってどうなるの」「ライフワークとしての手術、研究、そして釣り」
「睡眠から始まるウェルネス」「超高齢化を支えるAIとサイバニクスシステム」

参加者感想：このたび筑波大学で開催された次世代リーダー研修会に参加する貴重な機会をいただき、4日間を通して多くの学びと気づきを得ることができました。全国から活躍している女性がたくさん集まり、それぞれの思いや経験を共有しながら学べた時間は、私にとって大きな財産になりました。



櫻井会長をはじめ企画・運営に携わってくださった関係者の方々、このような素晴らしい研修を準備していただいたことに深く感謝いたします。

結核予防街頭キャンペーン 日時：令和7年9月24日(水) 17:00～

結核予防推進及び複十字シール募金活動 場所：県民広場・パレット久茂地前
県庁前広場及びパレット久茂地前において沖縄県、那覇市、結核予防婦人連絡協議会(那覇地区南部地区)共同で、結核予防のパンフレット等を配布すると共に結核予防の大切さのアピールを行った。



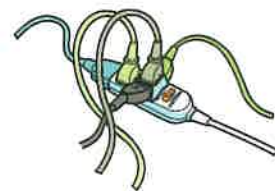
編集後記：広報紙作成はとて大変でしたが、いい経験になりました。厳しく指導してくださった與那覇鬼編集長楽しかったです。ありがとうございました。 広報部員 勅使川原 雅江
 全国大会、国立劇場おきなわでの芸能大会と忙しい1年でした。お陰様で何とか乗り切れた事に感謝します。来年度も広報部にご協力よろしくお願いします。 仲村渠 好美

チェックしましょう！ 家庭の電気安全

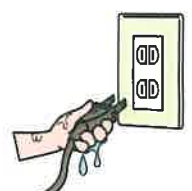
こんな使い方は危険です！



傷んだプラグやコンセントは使わないようにしましょう



定格容量を超えたタコ足配線はやめましょう



ぬれた手で電気器具にさわるのはやめましょう

弊協会では、電気を安心してお使いいただくために、沖縄電力㈱から委託を受けて、みなさまのお宅に4年に1度お伺いし、電気設備の安全調査を行っています。この調査では、「漏電はないか?」「分電盤に異常はないか?」などを確認します。
 安全で快適な電気使用のために、電気設備の安全調査にご協力をよろしくお願いいたします。

この調査では料金を請求することはありません。調査を装ってお客さま宅を訪問し、調査料や修理代金などをだまし取る「ニセ調査員」による詐欺事件が発生しています。不審と思われる場合は、弊協会までご連絡ください。

電気は正しく安全に！

一般財団法人 沖縄電気保安協会
〒900-0036 那覇市西三丁目8番21号
TEL 098-866-4946(代表)